

水産業界をリードする情報誌

日刊
速報

水産タイムス

THE SUISAN TIMES



発行所 株式会社 水産タイムズ社
編集発行人 越川宏昭
〒108-0014 東京都港区芝5-9-6
TEL 03(3456)1411 FAX 03(3456)1416
ホームページ http://www.suisantimes.co.jp/
e-mail suisan@suisantimes.co.jp
日刊(但し土・日曜・祝祭日休刊)
購読料 1ヵ月 4,800円 6ヵ月 28,800円(税別)

2019年(平成31年)
2月6日(水) 12987号

日水3期、北米・欧州順調で6%増収

日本水産の平成31年3月期第3四半期は、売上高が前年比6.1%増の5432億円、営業利益が2.5%減の198億円、経常利益が7.9%増の228億円、四半期純利益は前年に投資有価証券売却益があったため6.7%減の152億円となった。南米のサケマス養殖事業で前年の稚魚斃死の影響があったが、北米や欧州は順調に推移した。

養殖事業はマグロの魚価が低迷

水産事業は売上高が2.9%増の2233億円、営業利益が12.0%減の97億6300万円となった。

漁労事業はカツオやサバなどの漁獲が好調。南米も漁獲数量が増加、販売価格も上昇した。

養殖事業は減収減益。夏場でも品質の良い「若ぶり」の販売尾数の増加や販売価格の上昇によりブリは増益となったが、マグロの販売価格低迷に加え赤潮の被害などによる斃死、サケマスの生産コスト上昇が影響し、国内は減収減益。南米は生産コスト低減に努め、サケマスの減益幅を抑えた。

加工・商事事業は増収増益。国内はスリミや飼料油飼の販売が好調に推移したものの、サケ

マスの販売数量減少、エビの販売価格下落で増収減益。北米はカニの取扱量減少で減収となったが、スリミや助子の販売価格上昇や労務コスト削減効果もあり増益。ヨーロッパは販売エリアの拡大で増収増益となった。

食品事業は売上高が6.3%増の2616億円、営業利益が0.4%増の103億円となった。

加工事業は増収減益。国内は冷凍食品の米飯や野菜、練り製品を中心に販売が伸長したが原料価格の上昇もあり増収減益となった。北米は家庭用冷凍食品コスト削減効果により増益。ヨーロッパは生産体制の整備が進み、魚を中心とした惣菜商品の販売が好調に推移し増収だったが、原料価格の上昇により前年同期並みの利益に落ち着いた。チルド事業はコンビニエンスストア業界の再編による供給店舗の増加に加え、おにぎり・麺・弁当類の販売が伸長したことで増収増益だった。

ファイン事業は売上高が3.4%増の196億円、営業利益は44.7%増の19億6400万円。乳児用粉ミルクに添加するDHAなどの機能性原料の販売が国内外とも堅調に推移し、大幅な増益につながった。

- MNのASCブリ、イオンで販売…………… 2
- 1月の札幌市場、丸水が数量・金額増…………… 2
- 英国の海産哺乳類からプラスチック…………… 2
- 田中氏の受勲パーティー和やかに…………… 3
- 釣った魚をオークション形式で売買…………… 3
- 渚泊推進、ポータルサイトへの登録を…………… 4

漁港議連・衛藤会長「強い水産業界を支える」…………… 4

業界人物スポット

山口県下関市長

まえだ しんたろう
前田 晋太郎氏